

保健師からの ちょっといいはなし!

「結核」に注意しましょう



**特に高齢者の患者さんが
増えています**

結核の患者さんに占める高齢者の割合は年々増えていて、約45%が70歳以上の高齢者となっています。

その原因の一つは、この年代は、日本に結核がまんえんしていた時代に生まれ育つたため、過去に感染経験があるかたが多いこと。もう一つは、老化により免疫機能が弱まり、これまで抑えていた結核菌の活動を抑えられなくなってしまうことがあげられます。

高齢者は、慢性的な気管支炎などを患っているかたも多く、症状に気づきにくいことがありますので注意が必要です。

若い人も要注意!

若い世代は、今まで結核菌にさらされることなく過ごしてきたため、偏食、ダイエット、不規則な生活などで、からだの抵抗力が弱まると、感染・発病の機会がグンと高まります。

結核は、治る病気です。

結核というと、「治らない。隔離される。消毒される。」など誤解があるようです。

現在は、よく効く薬がたくさんありますので、薬を飲めば、ほとんどの場合、治癒します。きちんとした治療を受ければ、

**気づきにくい症状、
長引くせきには、用心**
結核の初期症状は、かぜとよく似ています。せき・たんが出て、市販の風邪薬を飲んでいても、なかなか治らない。病院に行つて調べてもらったら、実は結核だった。
こんな話を、最近聞くようになりまし

●こんな時はすぐ病院へ!

長引くせき(2週間以上)

タンが出る

長引く微熱

長引く倦怠感(体がだるく、活力が出ない)

胸痛

体重減少



決して怖い病気ではありません。

BCGは、赤ちゃんを

結核から守る予防接種です

抵抗力の弱い赤ちゃんが、結核に感染すると、重症化しやすく生命にかかわることもあります。結核を予防するために、BCG接種を受けましょう。赤ちゃんへのツベルクリン反応検査は廃止され、BCGワクチンの接種を直接おこないます。生後6か月までに受けるようにしましょう。

せきが出るときは

マスクをつけましょう

結核だけでなく、かぜやインフルエンザの感染の拡大を防ぐためにも、せきときは必ずマスクをしましょう。

10月1日は浄化槽の日

浄化槽は、保守点検・清掃・法定検査という維持管理が適正に行われることによって、私たちの生活から排出された汚水を浄化して、きれいな水を川に流すことのできる装置です。

浄化槽法では、定期的な保守点検・清掃のほかに、これらが適切に行われているかを検査するための法定検査の受検が義務づけられています。

法定検査を受検しない場合

指導・助言、勧告、改善命令がなされる場合があります。

また、改善命令に従わないときは、罰則(30万円以下の過料)が科せられる場合があります。

問合せ

秩父環境管理事務所
☎23-1511
住民福祉課保健衛生係
☎62-1230 内線106



ふれあいプール・ホット 臨時休館

水の入替え作業などのため

10月8日(月)~12日(金)

は休館します。



オータムジャンボ宝くじ

1等・前後賞合わせて2億円!

- 1等 1億5,000万円×26本(前後賞各 2,500万円)
- 2等 1,000万円×26本
- 3等 100万円×260本

この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

発売期間 10月1日(月)~19日(金)

抽せん日 10月24日(水)